

元気・勇気・笑顔！ ～仲間と創ろう、思い出いっぱい宝箱～

今年も、月山、志津、最上川、大江町を舞台に5泊6日の『チャレンジキャンプ』が開催され、元気あふれる小中学生30名が大自然の中で仲間と共に登山やいかだ下りにチャレンジしました。たくましく成長した面々は、最終日前夜の「フェアウェルパーティー」で、6日間を共にした仲間との思い出を宝箱に詰め込んで、お互いの挑戦を称え合い、将来の再会を誓い合いました。



朝日の山並み

発行
山形県朝日少年自然の家
電話
0237(62)4125
Fax (62)4126
ホームページ
山形県朝日少年自然の家
で一発検索



「昆虫」は気持ちが悪い生き物か？ 「川」は危険なところなのか？

先々月、県キャンプ協会の招きで、朝日少年自然の家の元所長の土屋常義氏（東根市立大森小学校長）が「幼児期における自然体験の重要性」と題した講義を行いました。その中で、子どもたちがよく使うノートの表紙について話がありました。以前は様々な昆虫の写真が載っていましたが、現在では、植物のものだけになっているそうです。その理由は、保護者や教師が「昆虫を見るだけで気持ちが悪い。」というものだったようです。大人（親世代）が昆虫を捕まえたり、触ったりする体験が無くなってしまったからではということでした。

その話を聴いて、庄内地区に赴任していた時のことを思い出しました。私が赴任していた小学校では、地区内を流れる川で遊ぶことは禁止されていました。ところが、同じ川の対岸にある小学校では、禁止されてはいません。暑い日に川で遊んでいる他校の子どもをうらやましそうに見ている子どもたちがいました。

その時に、校長と話し合ったことは、「川は危険なところもあれば、危険な時もある。大人がどういう時に危険なのか、どういう場所に入っていけないのか、教えることができなくなっているのではないか。」ということをおぼえています。

子どもたちが学んだものが、本から学んだ知識なのか、体験からつかった知恵なのか、その体験歴が問われる時代になってきたと言われています。朝日少年自然の家では、これからも子どもたちの多様な体験活動を支援していきたいと考えています。
(所長 板垣恵一)

今後のイベントのご案内

朝日わくわく広場①「朝少フェスタ2019」

☆9月28日(土)～29日(日) 1泊2日
対象…小学4年～中学生(先着40名) 来場者は制限なし
参加費：3000円 来場者チケット：1000円



参加者がお祭りの準備をして、朝少のお誕生日を来場者の皆さんと一緒に祝いします。チャレキャン参加者もたくさんあつまるので、来年の参加を考えているお友達は、ぜひ！